

授業科目 東アジア文化研究特論 I	単位 2 単位
授業担当者 横山 廣子	授業期間 前期
授業の題目と概要 「中国を中心とするアジアにおける文化変容と社会」中国やその周辺のアジア各地で見られる文化変容に関わる現状を把握するとともに、それをどのようなアプローチによって研究しうるかについて、具体的な研究事例を通して考える。	
授業の内容と計画 近年の中国やその周辺のアジア諸国では、急速に目覚ましい経済発展を遂げている地域と、発展から取り残された地域を両極として、経済・社会面の大変動がいたるところで起こっている。そのような多様な経済・社会状況と絡み合う形で、各地の文化の急激な変化や喪失が生じている現実がある。民族単位あるいは地域単位で「伝統文化の保存」が叫ばれる一方、国際的な「文化遺産」登録を目指す動きが見られ、また、観光産業を中心とする文化の経済資源化も進展している。それらの動きがまた、文化のゆくえにさまざまな影響を及ぼしている。それらの多面的な動態を理解し、分析する方法を身につけることがこの授業の目標である。 最初に、地域での文化の動態が行政や国家政策とどのように関わってきたのか、この数十年におよぶ経済・社会の変化について概観する。その後、各地の文化変容をめぐる事例とそれに関する研究事例を取り上げながら、各論点について検討を加える。講義に加えて、全員参加の議論を重視して授業を進める。	
使用する参考書、参考論文等 関係文献をその都度、提示する	
成績評価基準 レポートおよび授業中の質疑応答、議論への参加に基づいて成績を評価する。	
その他の留意事項	